

(令和4年度実施)「新たなきずなづくりを生み出すための社会教育のあり方」についての  
調査 設問案

## <社会教育関係担当部局対象調査>

### ○ 社会的包摂の実現について

問22 外国人の家族や子供たち、障害のある方やその家族への支援、社会的に孤立しがちな若者や高齢者等、様々な理由で困難を抱える人々に対して、知識や技能を習得する学習機会や、社会とつながりを持つことができる場、力を発揮できる場などの支援が必要となってきました。そこで、貴自治体において、特にどのような人々への支援が必要だと考えていますか。

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| 1 困難を抱える家庭や子供 | 2 外国人の家族や子供        |
| 3 障害のある方やその家族 | 4 社会的に孤立しがちな若者や高齢者 |
| 5 その他         |                    |

★ 記述9 前問で「その他」と答えた場合は、その概要を記述してください。(別添、記述式回答欄に記入)

問23 愛知県の若者や高齢者の単独世帯数は、2010年の923,424世帯(一般世帯に占める割合:31.5%)が2020年には1,175,221世帯(同:36.3%)と大きく増加をし、地域において社会的な孤立が懸念されます。そこで、貴自治体において、このような社会的に孤立しがちな住民への支援(例:学習機会の提供、つながりの場の提供)をする事業を実施していますか。

※単独世帯:世帯主が一人の世帯

- |          |               |           |
|----------|---------------|-----------|
| 1 実施している | 2 実施に向けて検討・準備 | 3 実施していない |
|----------|---------------|-----------|

★ 記述10 前問で「実施している」「検討・準備」と答えた場合は、その概要を記述してください。(別添、記述式回答欄に記入)

問24 地域全体で家庭教育を支える仕組みづくりが重要となっている中、保護者に対する学習機会の提供や親子での体験型のイベント等の従来の支援に加え、支援が届きにくい家庭に対するアウトリーチ型(自宅等、保護者の居場所に出かける)の支援が必要とされていますが、貴自治体ではそのような事業を実施していますか。

- |          |               |           |
|----------|---------------|-----------|
| 1 実施している | 2 実施に向けて検討・準備 | 3 実施していない |
|----------|---------------|-----------|

★ 記述11 前問で「実施している」「検討・準備」と答えた場合は、その概要を記述してください。(別添、記述式回答欄に記入)

問 25 問 24 の家庭教育支援に関連して、貴自治体には愛知県で養成した地域で家庭教育や子育てを支援する「子育てネットワーカー」(※)の方を、講座やイベント開催、アウトリーチ型の支援等で活用していますか。

※子育てネットワーカー：県の養成講座を修了し、保護者の子育てについての相談に応じたり、地域の子育てグループや子育てサークルの活動を中心になって支援したりするボランティア

- 1 活用している      2 存在するか不明      3 活用していない

★ 記述 12 前問で「活用している」と答えた場合は、その概要（内容と頻度等）を記述してください。（別添、記述式回答欄に記入）

問 26 問 24・問 25 に関連して、貴自治体では「子育てネットワーカー」をはじめとする多様な地域人材で構成する「家庭教育支援チーム」(※)等の人々の連携や協働による家庭教育支援への事業を実施していますか。

※家庭教育支援チーム：多様な地域人材により構成されるチームで、保護者同士の学びの場の提供や親子の触れないなどの居場所づくり、相談活動といった取組を行う。文部科学省は、近年、身近な地域において保護者の悩みや不安を解消するために、その充実を目指している。

- 1 実施している      2 実施に向けて検討・準備      3 実施していない

★ 記述 13 前問で「実施している」「検討・準備」と答えた場合は、その概要を記述してください。（別添、記述式回答欄に記入）

問 27 貴自治体では、中学校卒業後の進路未定者、高等学校中退者を対象とした支援への事業を実施していますか。

- 1 実施している      2 実施に向けて検討・準備      3 実施していない

★ 記述 14 前問で「実施している」「検討・準備」と答えた場合は、その概要を記述してください。（別添、記述式回答欄に記入）

問 28 貴自治体では、外国にルーツがあり日本語支援が必要な方を対象とした支援への事業を実施していますか。

- 1 実施している      2 実施に向けて検討・準備      3 実施していない

★ 記述 15 前問で「実施している」「検討・準備」と答えた場合は、その概要を記述してください。（別添、記述式回答欄に記入）

問 29 大規模自然災害や新型コロナウイルス感染症などの課題に対し、あらゆる人々の「命を守る」ための必要な知識を得たり、共に学び合ったりする機会を設ける事業を実施していますか。

- 1 実施している                      2 実施に向けて検討・準備                      3 実施していない

★ 記述 16 前問で「実施している」「検討・準備」と答えた場合は、その概要を記述してください。(別添、記述式回答欄に記入)

★ 1 を答えた場合、問 30 をお答えください。

問 30 問 29 であらゆる人々の「命を守る」ための獲得した個人の知識や学びを地域全体に広げていくために、貴事務局として今後、どのような取組が必要となると考えますか。(複数回答可)

- 1 コミュニティにおける防災等リーダーの養成
- 2 コミュニティを主体とし、市町村全体での学びの場を確保する
- 3 幼稚園や保育所、学校と連携した取組の推進する
- 4 学習者が講師となって講座を開設する仕組みをつくる
- 5 学習者同士を結びつけ、サークル化する
- 6 学習者を地域の多様な主体と結びつける
- 7 学んだことを発信する(広報、ホームページ、SNS等)場の確保や支援をする
- 8 その他

★ 記述 17 前問で「その他」と答えた場合は、その概要を記述してください。(別添、記述式回答欄に記入)

**○ 人生100年時代について**

※人生100年時代：これまでのライフプランでは、「教育—仕事—引退」といった3つのステージが基本的な形であったが、平均寿命が延びることにより人生を100年と捉えたとき、この基本の形が大きく変容する可能性を示唆した言葉。定年後の働き方や健康づくり、学び直し、きずな作りなどの多様な生き方・暮らし方といった人生デザインが必要となっている。海外の研究では、日本では2007年に生まれた子供の半数が107歳より長く生きるとされている。

問 31 貴事務局は、「人生100年時代」という言葉(意味も含める)を知っていますか。

- 1 知っている                      2 知らない

問 32 貴自治体では、「人生100年時代」に対応し、人々が充実した人生を送るために、必要なときに必要な学びを得られるような学びの場づくりを目的とした研修会等を実施していますか。

- 1 実施している                      2 実施に向けて検討・準備                      3 実施していない

★ 記述 18 前問で「実施している」「検討・準備」と答えた場合は、その概要を記述してください。(別添、記述式回答欄に記入)

○ Society5.0、ICTの活用について

問 33 貴事務局では、新型コロナウイルス感染症により人と人との接触を避ける新しい生活様式の中、社会教育を維持するためのオンラインを活用した取組を実施していますか。

- 1 実施している                      2 実施に向けて検討・準備                      3 実施していない

★ 記述 19 前問で「実施している」「検討・準備」と答えた場合は、その概要を記述してください。また、「実施していない」と答えた場合は、その理由を記述してください。(別添、記述式回答欄に記入)

問 34 貴事務局が管理している施設(例 公民館、生涯学習センター等)において、地域住民が利用できるインターネット環境の整備はどのようになっていますか。

(複数回答可)

- 1 市町村としてのフリーWi-Fi(利用者が自由に接続できるWi-Fi)がある  
2 研修室等に利用者が自由に接続できるインターネット接続のためのLANケーブル接続端子がある  
3 市町村内の情報管理部局からの設定変更をすることで、自由に利用できるインターネット環境がある  
4 その他  
5 整備されていない

★ 記述 20 前問で「その他」と答えた場合は、その概要を記述してください。(別添、記述式回答欄に記入)

★ 1～3を答えた場合、問 34 をお答えください。

問 35 問 34 の社会教育施設におけるインターネット環境の整備状況はどの程度進んでいますか。

- 1 ほとんどの施設(概ね7割以上)で整備されている  
2 半分程度の施設で整備されている  
3 一部の施設(概ね3割以内)で整備されている

問 36 貴事務局が管理している施設（例 公民館、生涯学習センター等）において、地域住民が自由に利用できる I C T 機器（パソコン、タブレット、Wi-Fi ルーター等）が配備されていますか。

- 1 配備されている
- 2 配備されていない
- 3 今後、配備予定である
- 4 配備に向けて検討を進めている

★ 1 と回答した場合、問 37 をお答えください。

問 37 問 36 の社会教育施設における I C T 機器の整備状況はどの程度進んでいますか。

- 1 ほとんどの施設（概ね 7 割以上）で整備されている
- 2 半分程度の施設で整備されている
- 3 一部の施設（概ね 3 割以内）で整備されている

問 38 貴事務局では、自らオンラインでの講座を開設でき、地域住民からの I C T に関する問い合わせ（施設でのインターネット利用、オンラインでの会議やイベントの開催）に対応できる知識や技能を備えた職員はいますか。

- 1 いる
- 2 ある程度対応できる職員はいる
- 3 業務委託職員がいる
- 4 対応できるボランティアがいる
- 5 その都度、他部局からのヘルプに頼らざるを得ない
- 6 いない

問 39 貴事務局では、公民館等の社会教育施設を管理する職員に対し、I C T（施設でのインターネット利用、オンラインでの会議やイベントの開催）に対応できる知識や機能を備えた職員を育成するための研修を実施していますか？

- 1 実施している（年 回）
- 2 実施していない

問 40 I C T の活用の進行に伴い、機器等が利用できる者と利用できない者の間に生じる格差（デジタル・ディバイド）の解消が重要となりますが、貴事務局が管理している施設（例 公民館、生涯学習センター等）ではその解消に向け、地域住民に対する何か取組を実施していますか。

- 1 実施している
- 2 実施に向けて検討・準備
- 3 実施していない

★ 記述 21 前問で「実施している」「検討・準備」と答えた場合は、その概要を記述してください。また、「実施していない」と答えた場合は、その理由を記述してください。（別添、記述式回答欄に記入）

問 41 現在、GIGA スクール構想により、小中高校や特別支援学校の児童生徒に対して一人一台のタブレット等の配備が進められています。貴自治体では、GIGA スクール構想の支援や、そのタブレット等の活用として、社会教育における取組を実施していますか。

(例) 社会教育施設にて自由にネットに接続し利用ができるようにしている。

(例) オリジナルのコンテンツを作成し、配信している。

(例) 子供や保護者への連絡手段（相談事や情報提供等の広報活動）としている。

- 1 実施している                      2 実施に向けて検討・準備                      3 実施していない

★ 記述 22 前問で「実施している」「検討・準備」と答えた場合は、その概要を記述してください。（別添、記述式回答欄に記入）

問 42 デジタルトランスフォーメーション（DX）の時代に備え、デジタルスキルやリテラシーの学習を行いたいという市民の学習意欲や課題に応えるための講座を実施していますか。

※デジタルトランスフォーメーション（DX）

進化したデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革すること。

- 1 実施している                      2 実施に向けて検討・準備                      3 実施していない

★ 記述 23 前問で「実施している」「検討・準備」と答えた場合は、その概要を記述してください。（別添、記述式回答欄に記入）

#### ○ 地域活性化について

人口減少による活力低下や様々な地域の課題を克服する地域の活性化や地域づくりが重要となっています。また、新しい学習指導要領では「社会に開かれた教育課程」の展開がうたわれています。

問 43 貴自治体では、地域とともにある学校づくりとなる「コミュニティ・スクール」を実施していますか。

- 1 実施している                      2 実施に向けて検討・準備                      3 実施していない

★ 記述 24 前問で「実施している」「検討・準備」と答えた場合は、その概要を記述してください。（別添、記述式回答欄に記入）

★ 前問で「実施していない」と答えた場合は、問 44 をお答えください。

問 44 問 43 で「実施していない」のは、どのような理由からですか。(複数回答可)

- 1 学校評議員制度などの類似制度があるから
- 2 すでに地域連携がうまく行われており、その必要性を感じないから
- 3 すでに保護者や地域の意見が反映されているから
- 4 事務局の中でも賛成と反対があり意見がまとまらないから
- 5 コミュニティ・スクールの成果が明確でないから
- 6 適切な予算が確保できないから
- 7 学校現場の理解が進まないから
- 8 地域の理解が進まないから
- 9 委員やコーディネーターなどの適切な人材が見つからないから
- 10 その他

★ 記述 25 前問で「その他」と答えた場合は、その概要を記述してください。(別添、記述式回答欄に記入)

問 45 貴自治体では、学校を核とした地域づくりとなる「地域学校協働活動」を実施していますか。

- 1 実施している
- 2 実施に向けて検討・準備
- 3 実施していない

★ 記述 26 前問で「実施している」「検討・準備」と答えた場合は、その概要を記述してください。(別添、記述式回答欄に記入)

★ 前問で「実施していない」と答えた場合は、問 46 をお答えください。

問 46 問 45 で「実施していない」のは、どのような理由からですか。(複数回答可)

- 1 すでに保護者や地域の参画を得た類似の取組や仕組みがあるから
- 2 すでに地域連携がうまく行われており、その必要性を感じないから
- 3 事務局の中でも賛成と反対があり意見がまとまらないから
- 4 地域学校協働活動の成果が明確でないから
- 5 適切な予算が確保できないから
- 6 学校現場の理解が進まないから
- 7 地域の理解が進まないから
- 8 委員やコーディネーターなどの適切な人材が見つからないから
- 9 その他

★ 記述 27 前問で「その他」と答えた場合は、その概要を記述してください。(別添、記述式回答欄に記入)

○ コーディネートする人材の育成・活用について

問 47 貴事務局では、社会教育主事が配置され、その役割が十分発揮される業務に携わっていますか。

- 1 携わっている
- 2 一部携わっている
- 3 携わっていない
- 4 社会教育主事が配置されていない
- 5 人口一万人未満のため、社会教育主事が配置されていない

問 48 貴自治体では教員や公民館主事等による社会教育士（社会教育主事）の取得を推進していますか。

- 1 進めている
- 2 実施に向けて検討・準備中
- 3 進めていない

問 49 貴自治体では地域学校協働活動推進員や地域コーディネーターの養成を行っていますか。

- 1 行っている
- 2 実施に向けて検討・準備中
- 3 行っていない

問 50 貴事務局では、学校と地域が連携をした教育活動の展開や地域づくりを実施していますか。

- 1 実施している
- 2 実施に向けて検討・準備
- 3 実施していない

★ 記述 28 前問で「実施している」「検討・準備」と答えた場合は、その概要を記述してください。（別添、記述式回答欄に記入）

問 51 貴自治体では社会教育に携わる者に対しての研修を行っていますか。（複数回答可）

- 1 市町村において進めている
- 2 県の研修に参加をしている
- 3 他市町村の研修（や視察）に参加をしている
- 4 県や他市町村の研修会への参加も含め、行っていない

○ 市町村全体的な展開について

問 52 貴自治体には、総合的に教育政策について検討する教育委員会と首長部局による総合教育会議の場において、生涯学習・社会教育に関わる内容が協議されていますか。

- 1 されている
- 2 されていない

★ 記述 29 前問で「されている」と答えた場合は、生涯学習・社会教育に関わる内容を記述してください。（別添、記述式回答欄に記入）

## <社会教育委員対象調査>

### ○ 社会的包摂の実現について

問 25 貴自治体では、様々な理由で困難を抱える人々について、特にどのような人々への支援が必要だと感じていますか。(複数回答可)

- 1 困難を抱える家庭や子供
- 2 外国人の家族や子供
- 3 障害のある方やその家族
- 4 社会的に孤立しがちな若者や高齢者
- 5 その他

★ 記述 9 前問で「その他」と答えた場合は、その概要を記述してください。(別添、記述式回答欄に記入)

問 26 愛知県の若者や高齢者の単独世帯数は、2010年の923,424世帯(一般世帯に占める割合:31.5%)が2020年には1,175,221世帯(同:36.3%)と大きく増加をし、地域において社会的な孤立が懸念されます。そこで、このような社会的に孤立しがちな方に対して、どのような支援が必要だと感じますか。(複数回答可)

※単独世帯:世帯主が一人の世帯

- 1 学びの場の提供
- 2 居場所づくり
- 3 支援する者による相談場所や家庭訪問等での相談活動
- 4 TwitterやInstagram、LINEなどによる情報発信
- 5 その他

★ 記述 10 前問で「その他」と答えた場合は、その概要を記述してください。(別添、記述式回答欄に記入)

問 27 地域全体で家庭教育を支える仕組み作りが重要となっている中、支援が届きにくい家庭に対して、どのような支援が必要だと感じますか。(複数回答可)

- 1 子育てや家庭教育に関する学びの場の提供
- 2 親子で参加型のイベントなどの居場所づくり
- 3 家庭教育や子育てを支援する者による相談場所や家庭訪問等での相談活動
- 4 TwitterやInstagram、LINEなどによる家庭教育や子育ての情報発信
- 5 市町村内でのチームとしての家庭教育支援活動
- 6 その他

★ 記述 11 前問で「その他」と答えた場合は、その概要を記述してください。(別添、記述式回答欄に記入)

問 28 問 27 の家庭教育支援に関連して、貴自治体には愛知県で養成した地域で家庭教育や子育てを支援する「子育てネットワーカー」(※)がいますか。

※子育てネットワーカー：県の養成講座を修了し、保護者の子育てについての相談に応じたり、地域の子育てグループや子育てサークルの活動を中心になって支援したりするボランティア

- 1 存在し、活動内容を知っている
- 2 存在は知っているが、どのような活動をしているかは不明
- 3 自身が子育てネットワーカーとして活動している
- 4 存在を知らない

問 29 新型コロナウイルス感染症や大規模自然災害などの課題に対し、あらゆる人々の「命を守る」ために、どのような取組が必要だと考えますか。

- 1 公民館等での防災に関する講座開設などによる学びの場の提供
- 2 自治区ごとでの防災に関する体験的な学びの場の確保
- 3 感染症に対する必要な知識を得たり、共に学び合ったりする機会の提供
- 4 感染症によって失われた地域社会のつながりの回復
- 5 その他

★ 記述 12 前問で「その他」と答えた場合は、その概要を記述してください。(別添、記述式回答欄に記入)

**○ 人生 100 年時代と生涯学習・社会教育について**

※人生 100 年時代：これまでのライフプランでは、「教育—仕事—引退」といった 3 つのステージが基本的な形であったが、平均寿命が延びることにより人生を 100 年と捉えたとき、この基本の形が大きく変容する可能性を示唆した言葉。定年後の働き方や健康づくり、学び直し、きずな作りなどの多様な生き方・暮らし方といった人生デザインが必要となっている。海外の研究では、日本では 2007 年に生まれた子供の半数が 107 歳より長く生きるとされている。

問 30 あなたは、「人生 100 年時代」という言葉（意味も含める）を知っていますか。

- 1 知っている
- 2 知らない

問 31 あなたは、「人生 100 年時代」に対応し、人々が充実した人生を送るために、必要となときに必要な学びを得られるような学びの場づくりは必要だと思いますか。

- 1 必要である
- 2 必要でない

- ★ 記述 13 前問で「必要である」と答えた場合は、どのような内容の学びの場が必要だと思えますか。その概要を記述してください。(別添、記述式回答欄に記入)

○ Society5.0、ICTの活用による取組について

問 32 令和3年度、あなたはオンライン（ZoomやCisco Webex Meetings等）での会議や研修会に参加をしたことがありますか。

- 1 ある（ 回程度）                      2 ない

- ★ 「ある」と答えた場合、問 33・問 34 へお進みください。

問 33 オンラインでの会議や研修会は、コロナ禍が収まった後も人と人をつなぐ新たな方法として有効だと思えますか。

- 1 思う                      2 思うが課題もある                      3 思わない

- ★ 記述 14 前問で「思うが課題もある」「思わない」と答えた場合は、その理由を記述してください。(別添、記述式回答欄に記入)

問 34 令和3年度、あなたは社会教育委員としての業務に関わらず、オンライン（ZoomやCisco Webex Meetings等）での人との集まりを自ら開催したことがありますか。

- 1 ある（ 回程度）                      2 ない

問 35 新型コロナウイルス感染症により人と人との接触を避ける新しい生活様式の中、社会教育を維持するためのオンラインを活用した取組の充実に向け、貴自治体ではどのようなことを充実させる必要があると思えますか。(複数回答可)

- 1 公民館等社会教育施設へのパソコンやインターネット環境等のハード面での整備
- 2 パソコンやインターネット等の情報関連を熟知した職員の配置
- 3 公民館等の社会教育施設を管理する職員に対してのICTに関する研修の実施
- 4 社会教育施設（例 公民館、生涯学習センター等）におけるICT機器の整備などについて検討を図る場の設置
- 5 住民を対象としたオンラインに関する研修の開催や支援
- 6 その他

- ★ 記述 15 前問で「その他」と答えた場合は、その理由を記述してください。(別添、記述式回答欄に記入)

問 36 人と人との接触を避ける新しい生活様式の中にありながらも、人が集い、学び合う社会教育を維持するためにどのようなことを充実させる必要があると思いますか。(複数回答可)

- 1 感染対策に必要な物品等の整備
- 2 活動にあたるガイドラインや指針
- 3 オンラインでの会議や講座ができる施設や備品の整備
- 4 オンラインでの会議や講座を運営する職員のデジタルスキルの向上
- 5 その他

★ 記述 16 前問で「その他」と答えた場合は、その理由を記述してください。(別添、記述式回答欄に記入)

**○ 地域活性化の推進について**

問 37 人口減少による活力低下や様々な地域の課題を克服する地域の活性化や地域づくりが重要となっています。貴自治体では、学校を核とした地域づくりとなる「地域学校協働活動」や地域と共にある学校づくりとなる「コミュニティ・スクール」を進めていますか。

- 1 両方ともに進めている
- 2 地域学校協働活動のみ進めている
- 3 コミュニティ・スクールのみ進めている
- 4 両方の推進に向け、検討を進めている
- 5 地域学校協働活動の推進に向け検討を進めている
- 6 コミュニティ・スクールの推進に向け検討を進めている
- 7 両方ともに進めていない
- 8 取組内容について知らない